

● 第3次産業就業者比率

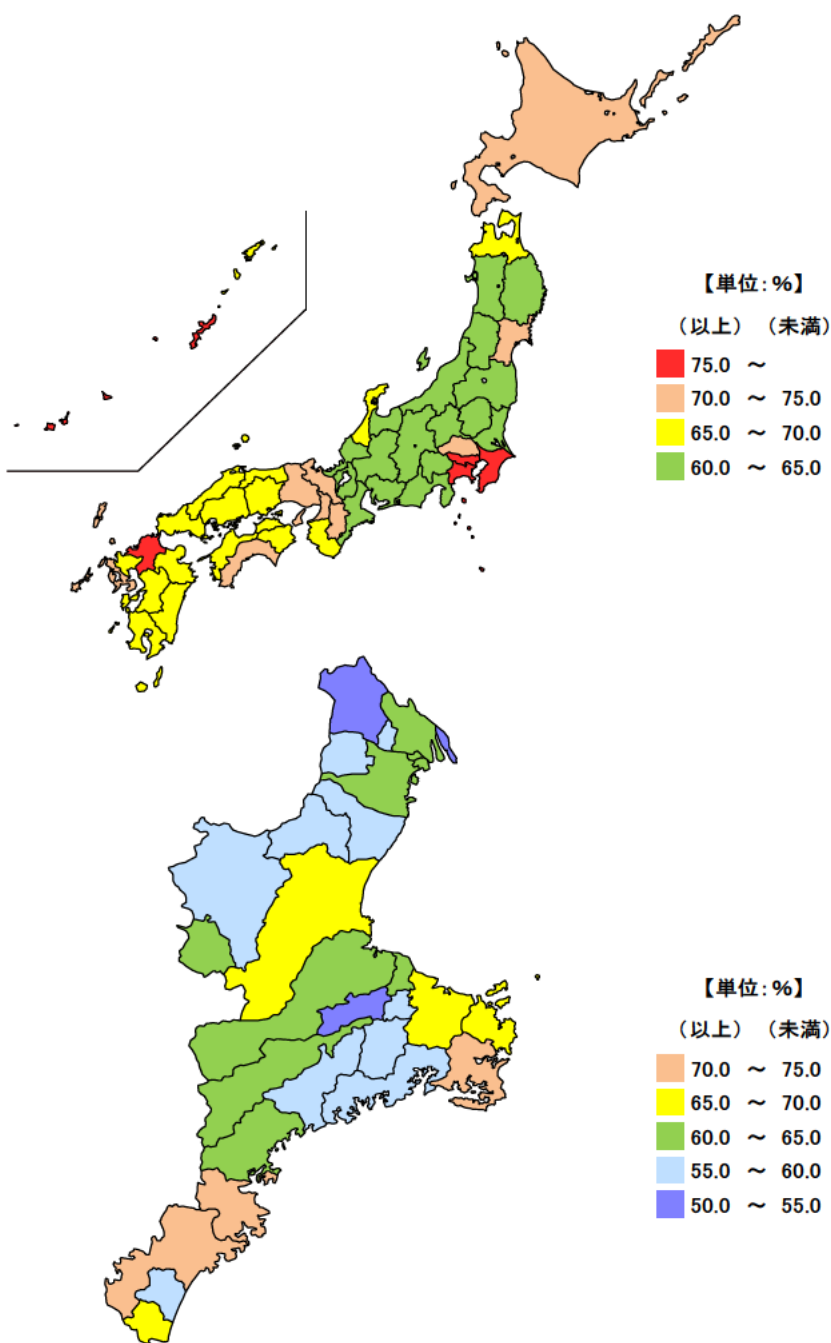
平成22年

単位：％

都道府県	値	順位
全 国	70.6	
東 京 都	82.0	1
沖 縄 県	79.2	2
神 奈 川 県	76.5	3
千 葉 県	76.4	4
福 岡 県	76.0	5
三 重 県	63.3	37
栃 木 県	62.1	43
静 岡 県	62.1	44
福 島 県	62.0	45
長 野 県	60.7	46
山 形 県	60.5	47

単位：％

市 町	値	順位
熊 野 市	73.2	1
尾 鷲 市	72.4	2
志 摩 市	70.1	3
津 市	69.8	4
鳥 羽 市	69.3	5
伊 勢 市	68.7	6
紀 宝 町	65.1	7
名 張 市	64.7	8
桑 名 市	63.9	9
松 阪 市	63.8	10
四 日 市 市	63.3	11
川 越 町	61.1	12
紀 北 町	61.0	13
朝 日 町	60.8	14
明 和 町	60.6	15
大 台 町	60.4	16
鈴 鹿 市	59.4	17
東 員 町	58.8	18
御 浜 町	58.8	19
菟 野 町	58.3	20
大 紀 町	58.1	21
南 伊 勢 町	57.6	22
度 会 町	57.3	23
玉 城 町	57.1	24
伊 賀 市	55.3	25
亀 山 市	55.1	26
多 気 町	54.4	27
木 曾 岬 町	53.8	28
いなべ市	50.4	29



平成22年の三重県の第3次産業就業者比率は63.3%で、全国平均より7.3ポイント低く、全国順位は37位となっています。県内では、熊野市、尾鷲市、志摩市が高く、70%を超えており、いなべ市、木曾岬町、多気町等は低くなっています。

【資料出所】

総務省統計局「国勢調査」

【算出方法】

第3次産業就業者数÷全就業者数(「分類不能の産業」就業者を除く)×100